

コンクリートシール工の作業手順

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 指示書の内容確認 安全打合せ書による。 作業別安全チェックシートの活用。
試 掘	<ul style="list-style-type: none"> 施工箇所に埋設ケーブルが有るか、無いか、図面にて確認し有る場合は、施工前に試掘を行う。この時、関係部署の立ち会いを受けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係部署の立ち会いを受ける。
掘 削	<ul style="list-style-type: none"> トレーラーで搬入した重機を卸し、重機にて施工箇所の掘削を行う。 ガードレール等を取り外し、重機を搬入し10cm掘削する。掘削後は、スコップ、ジョレンを使い均一にならず。また掘削後の土は、ダンプにて所定の場所へ搬出する。この時、車輛誘導を確実に進行。また掘削した後の掘削床は、プレートコンパクターを使用し転圧 	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者による機械作業を行う。 重機、ダンプの誘導を確実に進行。 ダンプへの過積載に十分注意をする。
コンクリート打設	<ul style="list-style-type: none"> 施工箇所の掘削が終了したら、10mピッチにエラストイトを設置し、厚さ10cmでコンクリートを打設します。この時、バイブレーターをしっかりと掛けること。 コンクリートは、C2-1を使用し仕上げは、ほうき仕上げをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ミキサー車等の誘導を確実に進行。 コンクリートは、工場出荷時間より1.5時間以上経過した物は、使用してはならない。 バイブレーターでの生コンの移動、流しは、行わない。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ほうきなどで清掃する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつりかす、合材かすが無い様に、綺麗に清掃する。
養 生	<ul style="list-style-type: none"> 型枠を入れた場合は、7日以上経ってから脱型する。また冬期の施工の場合は、シート等の養生処置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 養生シートを使用する場合は、風等による飛散を防止する。

作業編成(標準)	機材	資材	安全器具・保護具	
			ヘルメット	保護メガネ
			反射(自発光)チョッキ	防塵マスク
			警笛	耳栓

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.機械作業は、有資格者が必ず行う。
- 2.車輛の誘導を確実に進行。
- 3.作業に合った保護具を使用する。
- 4.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 5.一人作業の禁止